

横浜市港南区役所 御中

港南区民文化センター
19年度事業計画書

平成19年2月14日

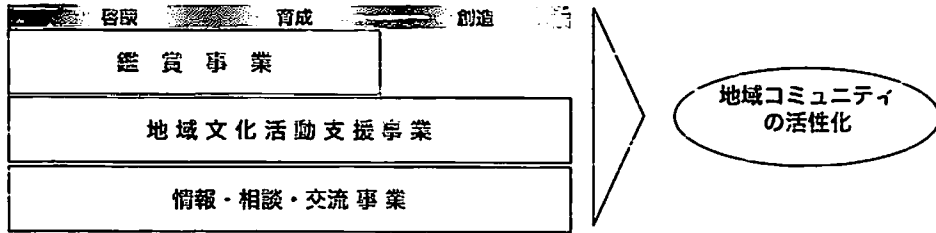
京急グループ共同企業体

イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

文化事業の概要と取組み方

文化事業の根幹である3事業【鑑賞/地域文化活動支援/情報・相談・交流】を通して、区民文化の啓蒙、育成、創造を図り、区民協働意識の醸成と共に、文化活動を基にした地域コミュニティの構築、活性化を図って参ります。貸館事業は、上記3事業の理念を補完する事業と位置づけ、取り組んで参ります。

私共は、京急沿線各所で実施した再開発事業での街づくりの実績を元に、京急グループの流通、サービス、広告等の各社が連携し、港南区民文化創造に向けて尽力致します。



【1】鑑賞事業

鑑賞事業は、良質の文化に触れ、創造への興味を喚起し、創造への可能性を引き出す、啓蒙育成活動をテーマとして、開館以来築き上げられたプログラムを尊重、継承し、以下の3つの施策の元に、企画実施をして参ります。

1. 多様な文化の紹介

- (1) 洋の東西、時代を問わず、様々な表現活動を紹介して参ります。
- (2) 日本文化の伝承は、国際交流に於ける日本人のアイデンティティ確立に必須と考えます。日本の古典芸能を身近に体験する機会が失われつつあり、鑑賞事業を通して、その魅力を認知する企画構成を図ります。
- (3) 「ひまわりの郷」施設の利用の可能性を提案する演目により、時代と共に変遷する文化の紹介を通して、地域活動支援事業の一環とも致します。
- (4) 上記、企画採用の基準は、ホール音響特性や、客席構造を活かした空間とのコラボレーションなど、「ひまわりの郷」の魅力、可能性を引き出す物を対象とします。

2. ターゲット別演目

- (1) より多くの方に、区文を利用して頂くために、通常演目の他にターゲット別の個別事業を実施して参ります。
- (2) ハンディキャッパー・乳幼児世帯向け演目（ハンディキャッパー・子育て世代が、気兼ね無く楽しめるクラシック演目の企画）
- (3) 中高生向け演目（後述する企画組織に参画する中高生提案を企画に反映し、区文活動への参画促進）
- (4) 幼少向け演目（鑑賞活動入門をテーマに、同質演目で、毎年継続するプログラム）
- (5) 成熟した鑑賞者向け演目（区文ならではの、良質なプログラムを確保提供）

3. 区民ニーズ

- (1) 「ひまわりの郷」レポートリーシステム
開館以来実施されてきた事業、今後実施される事業は、区文にとって大きな財産です。これらを区文レポートリープログラムと位置づけ、個別事業ごとの評価（アンケートなど）を元に、再演システムを取って参ります。限られたキャパシティの中で、より多くの方に鑑賞して欲しい、再度鑑賞したいなどの評価を受けた演目を、定期的で開催して参ります。
- (2) 多種多様な価値観を持った区民ニーズに応えるために、積極的に外部企画を募り、区民公募企画と共に、後述する企画会議において、選定して参ります。

団体名	京急グループ共同企業体
-----	-------------

イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

【2】地域文化活動の支援事業

区民文化の啓蒙・育成の視点から、区文文化事業の優先事業は、地域文化活動の支援事業であると考えます。活動の支援は、発表の場を提供すると共に合わせて、啓蒙、育成、創造を通して、港南文化の発展に寄与して参ります。

特に、育成事業に於いては中長期にわたる継続性と、ステップアップの発展性を重視し、開館以来培われた育成事業を継承、発展させていき、事業の連続性が途絶える事の無いよう配慮致します。

私達は以下の3つの視点より活動支援を行って参ります。

1. 育成・創造

- (1) 地域活動団体の育成
発足間もない団体への助言、制作手法の伝授や、舞台技術の研修、レベルアップを図るワークショップを開催し、育成の一助と致します。将来的には、区文利用団体の舞台技術の自主操作を目指し、リハーサル使用時の、運営負担軽減を図って参ります。
- (2) 次世代の育成
上記育成事業とは別に、中高校文化団体を対象にしたワークショップを開催し、展示・公演手法の紹介、舞台知識の啓蒙を図り、区文活動参画の足掛かりとし、将来的には中高生の組織化を図り、港南文化の次世代の担い手を発掘、育成して参ります。
- (3) 区民文化の創造
ワークショップとして実施している、フルート・リコーダー・ギターの聴座卒業生を中心に、ひまわりの郷音楽グループの育成を検討し、区民文化育成創造への端緒とします。

2. 共催

- (1) 地域行事との連携
区民生活に密着した地域行事との連携により、より身近に区文の存在を位置づける事が出来ます。事業実施のタイミングを地域行事・周辺商圏との連携を図る事により地域活性化に寄与します。
- (2) 地域イベントへの参画
地域イベントへの共催参画により、区民共有のイベントを発掘・育成して参ります。

3. アウトリーチ

- (1) 区文認知と文化啓蒙を第1義に、青少年をターゲットにした学校関係へのアウトリーチを長期計画で実施して参ります。特に吸収力の旺盛な若年世代への働きかけは、協働参画意識向上の一助と考えます。
- (2) 施設利用文化団体、利用希望団体への技術指導、団体運営助言を積極的に行い、協働で地域施設へのアウトリーチ活動を展開して参ります。
- (3) 中高校での文化部活動を積極的に支援し、青少年の文化レベルの向上を図ります。
- (4) 区文活動への自主的参画機運を醸成し、次代の区文事業を担う人材育成を望むとともに、長期的には、個別事業全体を自主制作する組織作りを目指して参ります。

団体名	京急グループ共同企業体
-----	-------------

イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

【3】情報、相談、交流事業

情報、相談、交流事業は、啓蒙、育成、創造、そして文化活動を通しての街づくりの土台となる事業と捉え、以下の3つの視点より取り組んで参ります。

1. イベントはパブリシティに始まり、パブリシティに終わると言われております。

- (1) イベントの際に、制作者として心掛ける事として上記のように言われます。
事前広報によって、集客、イベント認知を図り、事後広報によって 成果を問ひ非来場者への来場意識を醸成する意図があります。
- (2) 情報発信は域内、区内、市内、市外とその発信エリアによって形勢が異なります。域内では、区文内情報コーナー、区内では、区報、区役所、区外では、各区文化施設、市内では、市広報紙、市役所、市外では、鉄道沿線、バスターミナルを想定しております。これら関連諸機関と連携、運動を図り、ひまわり通信、HPを活用し情報発信して参ります。
- (3) 街づくりの観点より、区民の情報発信スペースを区文情報コーナーに限定せず、バスターミナルIPボードを活用し、幅広い域内来街者へ発信するサービスを提供致します。来街者の水平導線と待機時間に直接働きかけ、区文活用目的外の方々へ区文認知と新規利用者の拡充、文化団体の活動支援の一環として、パブリシティ支援を行います。
- (4) 京急グループのパブリシティメディアとして、京急電車内TVにおいて、18年度に引き続き、催事TV CMを放映し、ひまわりの郷事業の広報を行って参ります。

2. 楽市・楽座

- (1) 文化という資産が集積し、人が集い、情報が行き交う、自由闊達な空間作りを目指します。
- (2) 区文の役割として、活動団体に各種公演情報の提供、活動に関連する素材、技術、仕入方法などの情報提供と、ご相談に乗り、【文化に関する事は、区文で！】を目指します。
- (3) アウトリーチ活動の端緒として、教育施設文化担当者、総合学習担当者、高校文化団体、PTA への積極的な情報提供、技術提供、相談活動を推進し、区文運営協働参画機運を醸成致します。

3. 人の輪

- (1) 既存区文運営組織を継承し、区内の各種団体交流の場を、区文運営協議会として構築します。
- (2) 区文運営を協議する運営協議会、文化事業を企画する企画委員会、個別事業を運営制作する実行委員会を組織し、各団体のそれぞれの立場より、提言、立案、運営を致します。
- (3) 上記、企画、実行委員会に、中高校文化団体の参画を促進し、世代を網羅した組織構築を目指します。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

【4】地域コミュニティの活性化

(4) 他区区文との交流、連携を図り、情報交換、文化交流を図って参ります。
先般の新潟地震の被災者の皆様が避難所生活の中で、地域単位の避難所生活が大きな力になったと語っていました。首都圏住民の生活圏は、交通網、通信網の発展拡充と共に、区内に留まらず大きな広がりを見せています。一方では、地域への帰属性が薄く、地域コミュニティ活動の沈滞化、高齢化が言われております。教育機関単位では、PTA、おやじの会などが組織され、子弟教育への取組みが成されていますが、継続性が無く期間限定のコミュニティとなっております。区文活動の中で文化をキーワードにし、以下の3つの視点より、地域コミュニティ活性化を図り、街づくりの一助といたします。

1. 世代を超えた連携

- (1) 運営協議会など区文組織をベースに、幅広い世代が交流し、連携を図り地域コミュニティ参画の端緒とします。

2. 個人ボランティア育成

- (1) 高齢化社会の到来と共に、人生の第2ステージのあり方が問われています。地域への参画を意図されている方々を対象に区文組織（実行委員会等）への参加を公募し、ボランティアスタッフを育成します。
- (2) 地域の隠れた技能者、経験者の発掘、資源化に繋がり、アウトリーチへの活用を目指します。

3. 地域商圏・企業との連携

- (1) 地域商圏との連携、協働により、街づくりへの提言、ニーズの取得が可能となり、健全な地域の発展に寄与する基盤作りが可能となります。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(7)-b 指定期間(平成18年度から平成22年度の間)に実施する文化事業の概要と取組み方

■指定期間の文化事業の実施方針

【3つの実施方針】

【1】継承・伝承

新体制化での運営は、利用者にとって大きな不安要素の一つでもあり、新体制への信頼を勝ち取る事が、今後の協働作業には不可欠な点であると考えます。運営管理全般に於いて、継承し、協働で改善する流れを作ります。文化面においては、日本文化の伝承と発展創造を基軸とします。

【2】継承と発展

若年者育成に代わられる、新しい層の取り込み育成のために、育成プログラムを作成し、年度ごとに反復継続し、ステップアップに対応する発展プログラムと共に、中長期にわたる事業展開を図ります。

【3】感動と創造

受け手として、送り手としての感動を享受し、創造の喜びを体感できる事業展開を図ります。

平成18年度	継承
<ul style="list-style-type: none"> 継承の年/実績を尊重し、守り継続する 開館10周年に向けての、調査、企画/データベース化 新たな取り組みへの地域、商業施設、企業との調整 	

平成19年度	開館10周年
<ul style="list-style-type: none"> 10thアニバ・サリー通年プログラム 10thアニバーサリーで構築した地域一体化プログラムの通年化調整・企画 継続事業のプログラム化 	

平成20年度	継承・発展
<ul style="list-style-type: none"> 区制40周年/市制120周年/開港150周年に向けての調査・企画 地域一体化プログラム・継続事業の実施 	

平成21年度	区制40周年
<ul style="list-style-type: none"> 区制40周年/市制120周年/開港150周年プログラム 地域一体化プログラム・継続事業の実施 ボランティアスタッフの自立 	

平成22年度	継承・発展
<ul style="list-style-type: none"> 地域一体化プログラム・継続事業の実施 地域・学校への活動展開 文化団体の拠点、地域の文化情報拠点化 	

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(7)-b 指定期間(平成18年度から平成22年度の間)に実施する文化事業の概要と取組み方

■指定期間の文化事業の概要

■平成18年度

- ・ホール鑑賞事業/弦楽物語(継続事業)2回・日本文化シリーズ4回・その他6回
- ・4.5シアター(継続)12回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・文化事業推進組織の基盤整備/交流事業の推進
- ・開館10周年事業の企画・区内文化資源の調査発掘/周辺関連団体企業との連携組織整備
- ・ボランティアスタッフの公募/研修/組織化(以後通年化)
- ・アドボード活用推進
- ・中高校団体参画整備

■平成19年度

- ・ホール鑑賞事業/10周年をキーワードにした企画内容とし、8月にメイン事業を実施(地域一体事業)
- ・4.5シアター・ウェルカムキッズ11回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・文化事業推進組織の基盤整備/交流事業の推進
- ・中高校団体参画活動開始

■平成20年度

- ・ホール鑑賞事業/弦楽物語(継続事業)2回・日本文化シリーズ4回・その他6回
- ・4.5シアター(継続)12回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・区制40周年/市制120周年/開港150周年に向けての企画・行政、財団、他区文との調整/区内文化資源調査促進
- ・地域一体事業の推進

■平成21年度

- ・ホール鑑賞事業/区制40周年をテーマにした年間プログラムとし、10月にメイン事業実施
- ・4.5シアター(継続)12回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・運営組織・ボランティア組織の熟成/区制40周年事業の自主運営
- ・市制120周年/開港150周年事業については連携を図る

■平成22年度

- ・ホール鑑賞事業/弦楽物語(継続事業)2回・日本文化シリーズ4回・その他6回
- ・4.5シアター(継続)12回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・区民創作事業の熟成化
- ・文化情報のIT化を図り、地域文化情報の拠点化を確立する

■京急グループの提供するサービス

・グループ関連会社と共に、積極的に【『ひまわりの郷』ホール・ギャラリー等】の企画を作成し、営業を展開致します。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(7)-c 平成19年度の文化事業の具体的な企画提案

事業方針

当年度は、ゆめおおか開館10周年となり、地域一体の10周年イベントが通年企画されると想定します。『ひまわりの郷』においても、10年間を振り返り、新たな10年に向けての取組みを考えていきたいと思ひます。

1. 事業

- (1) 18年度実施の多くのプログラムはアンケートからも好評であり、引き続き19年度も実施特に45シアター・ウェルカムキッズの事業要請が多く、プログラムの充実を図って参ります。
(2) 活動支援事業についても、基本的に希望団体は継続とするが、10周年に相応しい内容構成を依頼し、地域イベントについては積極的に10周年の一体化企画を推進致します。
(3) ひまわり通信・HPは、通年企画として、10周年を振り返る構成を取り事業との統一感を目指します。

2. 公募企画

- (1) 全ての事業に、公募窓口を設置し、多様なニーズに対応して参ります。企画採用に関して、区民組織による企画委員会、職員は、助成・提督・補完業務を行って参ります。

3. ターゲット別企画

- (1) 世帯高齢化対策の一環として、子育て世代限定クラシックコンサートなど子育て世帯にやさしい街を印象づけ、若い世帯の環流促進の一助とします。また、中高生主導企画を夏期休暇中に実施し、参画を促進します。

4. 情報・交流

- (1) 高校生参画の実践として、1・2年生を中心にした事業(こうなんストリートダンスコンテスト2008)を企画し、実行委員会形式の運営による参画、協働、交流を促進します。

5. 開館10周年

- (1) 鑑賞事業の各企画(ひまわり紀行・オアシスコンサート・その他)において、10周年記念事業を実施する。各企画において、著名アーティストコンサート、育成事業を企画構成し、10周年を区民と共に祝い、11年日に向けて、区分事業活性化の推力とする。

Calendar grid with columns 4-12 and 1-3, and rows for Hall Rental, 45 Theater, Activity Support, HP, Exchange, and Workshop.

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(7)-c 平成19年度の文化事業の具体的な企画提案

Main table with columns: 事業種別, 企画名, 企画概要, 時期・期間, 経費見込み(千円). Rows include K OUNAN Opera, Recital, Festivals, etc.

団体名

京急グループ共同企業体

イ - (イ) - a - a) 開館時間の勤務シフト・休館日設定の考え方

開館時間の設定

【利用者の利便性を第1に現制度を継承】

- (1) 使用時間変更は長らく慣れ親しんだ利用者にとって、不便を感じる物です。利用者の利便性を第1に考え現制度を継承し、運用方法でのサービスを心掛けます。
- (2) 9時から22時までの開館時間は、多くの利用者にとって使い勝手の良い設定であると考えます。しかしながら、日中の都合で、リハーサル日を設定できない等の個別事情に対しては、時間延長等の柔軟な対応で解決していく事が重要と考えます。

【時間外利用対応】

- (1) 時間外利用に対しては可能な限り柔軟に対応して参ります。区文は、複合ビル内のセキュリティシステムにより23時~7時までの使用は不可能です。しかしながら、前後合わせて3時間の延長使用は、管理上可能と考えられます。

【勤務体制】

- (1) 職員等(館長・副館長を含む)の基本労働時間は、9時間拘束8時間の所定労働時間とし、8時30分~17時30分基本時間とします。
- (2) 開館前の作業点検を行いお客様をお迎えする準備を行います。
- (3) カルチャースタッフは現契約を継続し、勤務時間についても現行を継承致します。
- (4) 終業時間については、閉館作業、2交代制のための事務引き継ぎ等を考慮し閉館時間後30分を原則とします。

【検討課題】

私共が実際にホール利用者の立場から、舞台管理体制を見た場合、2交代制が不安で、不満でもありました。特に、事前打ち合わせ者と、当日担当者の違い、仕込・リハーサル・本番での担当者の入れ替わりは、充分な引き継ぎがあるとしても、創作活動は人間関係が大きな要素を持っており、信頼関係構築の面からも個別事業ごとの担当制を検討課題と考えます。

- (1) 打合せから終演まで1担当
- (2) 特に使用日の担当者の固定化

※ 労働時間の観点から非常に困難な課題であると考えます。

	8:30	9:00	13:00	18:00	22:30
館長					9:00~18:00
副館長・職員					8:30~17:30 2名 客席セット時1名15分併用し 14:00~22:30 1名
技術管理職員					8:30~17:30 1名 客席セット時15分併用し 14:00~22:30 1名
運営 カルチャースタッフ					8:45~17:15 1名 13:45~22:15 1名
サービス カルチャースタッフ					9:00~13:00 2名 13:00~18:00 2名 18:00~22:00 2名
設備管理職員					開館時間内必要時常駐 主清掃は開館前に実施

団体名

京急グループ共同企業体

イ - (イ) - a - a) 開館時間の勤務シフト・休館日設定の考え方

勤務シフト

【多様なニーズに対応する柔軟なシフト】

- (1) 多様な形態を持つ複数の施設を抱える区文の運営は多様な利用者ニーズがあり、柔軟な体制作りが要求されます。3年間で検証改善された現在のシステムは実情に即した物と考えられ、基本的に継承致します。
- (2) 特に利用者の多いと想定される午後に対応した人員配置計画策定のために、技術管理職員にも対応可能な人材を配属し、効率的な勤務体制を確立致します。

【基本シフト】

- (1) ~17時30分 職員・カルチャースタッフ 2名以上、技術管理職員 1名以上
- (2) 夜間 職員・カルチャースタッフ 2名、技術管理職員 1名

【随時増員体制】

- (1) 稼働率、内容によって大きく変動する技術管理は、過不足ない体制を構築致し、技術管理職員の常駐を可能とします。

【労働関係法の遵守】

- (1) 労働関係法を遵守し、利用者ニーズに最大限応えていくために、裁量労働制の採用など、継続的に検討、調整をして参ります。

休館日の設定

【設備機器保守点検日程の固定化】

- (1) 設備機器点検、定期消掃により、年間数日を要します。利用者の利便性と保守業者の工程管理計画策定のために毎月、曜日、もしくは日を固定化し設定致します。
- (2) ビル全体の、保守点検日は、休館と致します。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(イ)-a-c) 情報コーナーや諸施設の活用方法と提供できるサービスの提案

■情報コーナー・諸施設の活用方法

【文化ナレッジセンター】

- (1) 文化に関する事ならば、『ひまわりの郷』、という区民の評価を目指し、港南区文化資源の発掘、広域催事情報の収集、データベース化を促進して参ります。
- (2) 制作関連情報のデータベース化を図り、制作業務に関わる種々の情報提供による、お助けコーナーを目指します。

【ライブシアター】

- (1) 区文事業の過去映像をデジタル化し、ダイジェスト版をPC上で公開します。
- (2) 公演案内なども、動画配信することも可能です。

【文化活動団体情報交換】

- (1) 後述致します、上大岡バスターミナルアドボードを活用し、【人材募集】、【リサイクルコーナー】、【指導します】、【公演案内】等情報交換ボードを展開致します。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(イ)-a-c) 情報コーナーや諸施設の活用方法と提供できるサービスの提案

■京急グループ・京浜急行電鉄が提供できるサービス

【誘導案内表示】

- (1) 多種多様な施設が、有機的に結合している『ゆめおおおか』では、『ひまわりの郷』へのアクセスも多様にあり、初めてのお客様が迷われるケースも散見します。
『ひまわりの郷』への誘導案内表示を誰でも解るようにフロアサイン設置等を検討致します。

【広報宣伝施策】

- (1) 京浜急行電鉄として、上大岡駅構内に『ひまわりの郷』・催事予定表』を掲出し、京急線利用者にPRいたします。
- (2) 京浜急行電鉄が、一般利用者ならびに地域住民の情報誌として『なぎさ』の中に『ひまわりの郷』情報コーナーを設けます。
- (3) 18年度に引き続き、京浜急行電車内に設置されている、京急テレビジョンで、自主事業CMを放映し、『ひまわりの郷』の認知、事業広報を促進します
- (4) 京急百貨店カスタマークラブ『オーカスクラブ』機関誌において、自主事業チケットの販売、公演案内を掲載し、18年度に引き続き、販売促進を図って参ります。
- (5) 上大岡バスターミナルの壁面及び柱面に設置されておりますアドボードに『ひまわりの郷』の誘導案内、及びに催事案内を積極的に提供致します。
- (6) 地元密着情報発信・CATV 港南と積極的に情報交換を行い、区民への『ひまわりの郷』情報を提供致します。

【『ひまわりの郷』活動支援】

- (1) 上大岡在住の有志が企画運営しております『ひまわり寄席』の開催を積極的に支援し、地域文化の醸成に務めます。

【アウトリーチ活動支援】

- (1) 館外への照明器具(グループ備品)の安価なレンタル(例:500W SPOT 200円)
- (2) 消耗品の安価な販売斡旋(グループ企業斡旋、『ひまわりの郷』割引設定)
(例:照明用フィルター小分け販売 8インチ1枚100円、6インチ1枚70円)
- (3) 音響器具・舞台用品の安価なレンタル斡旋

団体名

京急グループ共同企業体

横浜市港南区民文化センター

平成19年度 自主事業計画

平成19年2月26日

京急グループ共同企業体

■平成19年度 ひまわりの郷 自主事業（鑑賞）年間計画 ※内容・開催日時等、一部変更になる場合もございます。

ホールイベント 年間12回程度実施	●ひまわり紀行 3回 ●オアシスコンサート 5回 ●その他 5回（器楽ワークショップ発表会・DANCE CONTEST含む）
その他 イベント	●ウェルカムキッズ 6回 基本偶数月 ●45シアター 5回 基本奇数月

月度	区分	タイトル	場所	月日	予算	集客予定	予定価格	収入見込	
1	4月	Welcomekids Vol. 1	開館10周年フルートアンサンブル	ホール	4月1日	70,000	175名	500	87,500
2		ひまわり紀行 Vol. 1	ひまわり特選寄席 歌丸独演会 桂	ホール	4月8日	920,000	200名	3,000	600,000
3		オアシスコンサート Vol. 1	開館10周年記念 室内楽	ホール	4月15日	930,000	175名	3,000	525,000
4	5月	45シアターVol. 1	KIDSアートセミナー	音楽	5月20日	150,000	45名	500	22,500
5	6月	Welcomekids Vol. 2	金管楽器コンサート	ホール	下期に変更	130,000	175名	500	87,500
6		オアシスコンサート Vol. 2	河合優子コンサート	ホール	6月16日	560,000	175名	3,000	525,000
7	7月	オアシスコンサートVol. 3	シネオペラ 椿姫	ホール	7月7日	580,000	175名	2,800	490,000
8		45シアター Vol. 2	成人向けセミナー フルード	音楽	7月28日	150,000	45名	1,000	45,000
9	8月	その他 Vol. 1/ Welcomekids Vol. 3	1日施設開放デー	全館	8月18日	1,000,000	200名	500	100,000
10	9月	その他 Vol. 2	器楽ワークショップ発表会	ホール	9月16日	220,000	150名	0	0
11		45シアター Vol. 3	ルミナーージュ紙芝居	音楽	9月29日	150,000	45名	500	22,500
12	10月	Welcomekids Vol. 4	ピアノコンサート 斎藤雅弘	ホール	10月27日	300,000	175名	500	87,500
13		オアシスコンサート Vol. 4	ピアノコンサート 斎藤雅弘	ホール	10月27日	600,000	175名	3,500	612,500
14		45シアター Vol. 4	ハロウィンパーティー	音楽	11月3日	150,000	45名	500	22,500
15	11月	ひまわり紀行 Vol. 2	ひまわり紀行 源氏物語朗読	ホール	11月24日	900,000	175名	4,000	700,000
16	12月	その他 Vol. 3	ジャズナイト	ホール	12月15日	1,550,000	200名	4,000	800,000
17		Welcomekids Vol. 5	Xmas 電子ピアノコンサート	ホール	12月24日	250,000	175名	500	87,500
18	1月	ひまわり紀行 Vol. 3	ひまわり文楽	ホール	1月26日	950,000	175名	3,500	612,500
19		45シアター Vol. 5	正月遊び	音楽	1月6日	150,000	45名	500	22,500
20	2月	その他 vol. 4	田辺とおる ペラガラコンサート オ	ホール	2月16日	300,000	175名	0	0
21		Welcomekids Vol. 6	リコーダーRootBoxコンサート	ホール	2月3日	150,000	175名	500	87,500
22	3月	オアシスコンサート Vol. 5	バロックナイト	ホール	3月30日	1,400,000	200名	4,000	800,000
23		その他 VOL. 5	KOUNAN STREET DANCE	全館	3月16日	900,000	300名	0	0
			小計			12,460,000			6,337,500

その他事業

1	6~8月	器楽ワークショップ	フルード・リコーダー・ギター	音楽		講座受講料 で運営			
2		ひまわり管弦楽団	公開リハーサル	ホール		100,000		0	0
3									

事業費合計	12,560,000
-------	------------

**港南区民文化センター「ひまわりの郷」
平成19年度収支予算書**

平成19年2月26日

京急グループ共同企業体

収支予算書

施設名： 港南区民文化センター

(単位：円)

【収入】

科目	金額	内訳
指定管理収入	135,000,000	
利用料収入	29,500,000	施設使用料
自主事業収入	6,000,000	入場料
その他収入	1,100,000	広告、自動販売機他
合計	171,600,000	

【支出】

科目	金額	内訳
1.人件費		
①職員賃金	55,760,000	館長、副館長、職員 合計11名(一部職員は音響・照明・舞台操作業務)
②職員賃金(パート、アルバイト)	11,400,000	サービスカルチャースタッフ15名(3交代)、臨時アルバイト
	67,160,000	
2.事務費		
①印刷費	2,000,000	ひまわり通信、チケット、チラシ、ポスター、プログラム、他
②事務費	6,225,000	通信、使用料、賃借料、事務用品、支払い手数料・他
③ホームページ更新費	180,000	
④ニーズ対応費	400,000	誘導サイン一部改定
2.小計	8,805,000	
3.事業費		
①自主事業実施費	12,460,000	
3.小計	12,460,000	
4.管理費		
①水光熱費	21,000,000	電気、水道、空調
②修繕費	1,400,000	修繕全般、管球交換
③設備、機器、清掃、保安管理委託	18,680,000	京急サービス、横浜市住宅供給公社
④昇降機保守点検	1,640,000	
⑤舞台機構保守点検	3,760,000	
⑥舞台音響設備保守点検	1,470,000	
⑦舞台照明設備保守点検	1,100,000	
⑧ピアノ保守点検	480,000	ヤマハ、スタインウェイ
⑨電動ブラインド保守点検	53,000	
⑩冷水機保守点検	50,000	
⑪ギャラリー展示パネル保守点検	168,000	
⑫駐車場賃借契約	364,000	横浜市住宅供給公社
⑬客席椅子保守点検	190,000	
⑭負担金(共用管理費)	32,820,000	横浜市住宅供給公社
4.小計	83,175,000	
合計(1~4)	171,600,000	